

広島県に被害を及ぼした地震(西暦1600年以降)

広島地方気象台

西暦年月日 (和暦)	緯度 ※1	経度 ※1	M ※1	深さ※1 (km)	<地域> 又は 震央地名※1	広島県内の被害概要※2 (地震名)	広島県内 最大震度※3
1625. 1.21 (寛永1.12.13)					<安芸>	広島で大震。	不明
1649. 3.17 (慶安2.2.5)	33.7° N	132.5° E	7.0±1/4		<安芸・伊予>	広島にて待屋敷等破損多し。	(5)
1686. 1. 4 (貞享2.12.10)	34.0° N	132.6° E	7.0~7.4		<安芸・伊予>	死者2名。広島県中西部199ヶ村で被害。	(5)
1707.10.28 (宝永4.10.4)	33.2° N	135.9° E	8.4		<駿河湾~ 四国沖>	日本最大級の地震の1つ。町・郡中で全壊家屋78、半壊68。(宝永地震)	(6)
1733. 9.18 (享保18.8.11)			6.6		<安芸>	奥郡に被害あり	不明
1854.12.24 (安政1.11.5)	33.0° N	135.0° E	8.4		<四国~ 紀伊半島沖>	広島県内被害不明。 (安政南海地震)	(5)
1854.12.26 (安政1.11.7)	33.3° N	132.0° E	7.3~7.5		<伊予西部>	広島県内被害不明。	(4)
1857.10.12 (安政4.8.25)	34.0° N	132.5° E	7 1/4±0.5		<伊予・安芸>	広島で家屋の破損。三原・呉で被害。	(5~6)
1859. 1. 5 (安政5.12.2)	34.8° N	131.9° E	6.2±0.2		<石見>	広島・三原で灯籠など小損。余震約1ヶ月続く。	(4)
1872. 3.14 (明治5.2.6)	35.2° N	132.1° E	7.1±0.2		<島根県西部>	中野村(現芸北町)で亀裂(延長500m)を生じた。 県内各地で小被害。余震半年余り続く。(浜田地震)	(6)
1905. 6. 2 (明治38)	34.1° N	132.5° E	7 1/4		安芸灘	広島県南部で被害大(特に呉)。死者11名・家屋全壊102他。(芸予地震)	(6)
1919.11. 1 (大正8)	34.8° N	132.9° E	5.8		広島県三次付近	県北部で被害。井戸水の増減有。	(3)
1930.12. 20 (昭和5)	34.9° N	132.8° E	6.1	12	広島県北部	県北部で被害。	3
1946.12.21 (昭和21)	33.0° N	135.6° E	8.0	24	和歌山県南方沖	負傷3名。家屋・道路の被害。 (昭和南海地震)	4
1949. 7.12 (昭和24)	34.1° N	132.7° E	6.2	25	安芸灘	死者2名。道路の亀裂多い。	3
1970. 3.13 (昭和45)	34° 56' N	132° 49' E	4.6	10	広島県北部	地震が頻発(4月末頃まで)。落石多く農家納屋屋根破損	2
1970. 9.29 (昭和45)	34° 26' N	133° 18' E	4.9	10	広島県南東部	御調郡久井町で用水路破損し水田冠水。	3
1978. 6. 4 (昭和53)	35° 05' N	132° 42' E	6.1	0	島根県東部	県北の一部で小被害	4
1995. 1.17 (平成7)	34° 36' N	135° 02' E	7.3	16	大阪湾	福山市の一部で水道管一部破損。 (平成7年(1995年)兵庫県南部地震) 震災名: 阪神・淡路大震災	4
1997. 6.25 (平成9)	34° 26' N	131° 40' E	6.6	8	山口県北部	比婆郡口和町で民家の屋根瓦落下。市内安佐北区可部町で落石により列車脱線(負傷者なし)。	4
1999. 7.16 (平成11)	34° 25' N	133° 12' E	4.5	20	広島県南東部	広島市中区在住の男性(87才)地震発生に驚き転倒、腰部を打撲。	4
2000.10.6 (平成12)	35° 17' N	133° 21' E	7.3	9	鳥取県西部	広島市、江田島町で軽傷者3名。ガラス窓の破損、壁の亀裂、屋根瓦の落下等多数。 (平成12年(2000年)鳥取県西部地震)	5弱
2001.3.24 (平成13)	34° 07' N	132° 43' E	6.7	46	安芸灘	呉市で死者1名。呉市、広島市等県南部を中心に被害大。(平成13年(2001年)芸予地震)	6弱
2006.6.12 (平成16)	33° 08' N	131° 26' E	6.2	145	大分県西部	廿日市市で重傷1名、広島市で軽傷2名。一部損壊:尾道市1、東広島市2。	5弱
2011.11.21 (平成23)	34° 52.2' N	132° 53.6' E	5.4	12	広島県北部	負傷2名。(広島県による)	5弱
2011.11.25 (平成23)	34° 52.2' N	132° 53.6' E	4.7	12	広島県北部	住家一部破損 1棟など(広島県による)	4

主な参考資料 宇佐美龍夫:最新版日本地震被害総覧 東京大学出版 2003

※1 震央位置(緯度、経度)、M(地震の規模:マグニチュード)、深さ及び<地域>又は震央地名は、1884年までは宇佐美(2003)、1885年から1923年7月までは茅野・宇津(2001)を引用、1923年8月以降は気象庁地震年報による。

なお、緯度・経度については、1970年の地震以後は度分表示、それ以前は度のみ。

また、<地域>又は震央地名は、1884年までは被災地等、1885年以降は震央地名(1923年以降は気象庁が地震情報で用いる震央地名)を表している。

※2 被害数は史料年表、総務省消防庁、広島県の資料による。

※3 1925年以前の地震の震度については気象庁の震度データベースには収録されていない。

これらの地震の最大震度については、明治以前は 宇佐美龍夫:最新版日本被害地震総覧 東京大学出版 2003 から引用し括弧つきで記載。

また、明治以降は、地震報告・地震年報・気象要覧(中央気象台)によるものを括弧つきで掲載した。(なおこの期間の震度は、微・弱・強・烈の階級で記載してあるので、これに対応する震度を、1~6におきかえて表現してある。)